

# Camping ぎふ

令和2年7月20日 発行  
発行 岐阜県キャンプ協会  
編集 板津 均  
事務局 〒500-8222  
岐阜市琴塚 1-8-6 坪田方



HPQRコード

## 新型コロナウイルス感染拡大に思う

岐阜県キャンプ協会会長 野崎 英雄

令和2年4月7日に出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されました。その後は、感染のリスクを避けるために外出自粛の要請が出され、「3つの密」(①密閉空間を避ける…歓喜の悪い場所には行かない。②密集場所を避ける…多くの人が集まる場所には行かない。密接場所を避ける…互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発生が)自宅待機や学校などの休業、生活必要物品の買い物以外は外出自粛となりました。そして、非常事態宣言が解除された後も、感染防止のために新しい生活様式の普及ということで、外出するときは、マスクを必ず身につけることや、ソーシャルディスタンスを守ること、外出先から帰ったら、手洗いうがいの励行、三密を避けるための行動様式が当たり前となりました。

そんな目まぐるしい生活の変化をだれが予想できたことでしょうか。私たちは、このコロナの脅威と闘うのではなく、コロナウィルスと共存するためにどのようにしていくことがよいか、いつ終息するのも見通しがもてないまま手探りの状況のさなかであります。

岐阜県キャンプ協会においても、外出自粛要請が解除された後、先日3密を避けながら松岡理事長宅の広い部屋の中で、換気やソーシャルディスタンスを守るために、人との距離を開けて今後の取り組みについて話し合いました。

そこで決定されたことは、岐阜県キャンプ協会の近況報告ですが、昨日運営委員会を行い今後の事業について協議を行いました。岐阜県も特定警戒県・緊急事態宣言区域から解除されましたが、感染防止に対しては国民相互の義務として取り組まなければならないことと捉えております。そこで、当面の大きな課題として、今年度の事業をどのようにしていくかを話し合いました。

懸念される課題としては

- ①事業を開催するにあたり、自治体や教育委員会、新聞社や企業などの後援が得られないのではないか。
- ②この時期にイベントを開催して良からぬパッシングを受けるのではないだろうか。自粛警察とか良からぬ輩がいるので・・・
- ③屋外の活動であり3密回避はある程度可能であるけれども、万が一クラスターでも発生した場合には責任が取れるのか。その可能性は「ゼロ」ではない。  
などの意見があり、第2波・第3波も警戒しなければならず、一般の参加を予定しているイベントについては年内全てを中止することとしました。

また、7月実施予定であった県協会会員限定の指導者研修会については、協会



リモート会議の初期設定の研修

離れを少しでも防ぐために秋開催へ順延することとしました。さらに、月1回開催の運営委員会もリモート会議を実施しております。

このような状況の中、苦渋の決断をさせていただきまことをご理解いただけますよう、よろしくお願い致します。

さて、会員の皆様におかれましても、一日も早くコロナ感染の脅威から解放され、野外活動やキャンプ活動を実施したいと思っておられるのではないのでしょうか。新聞やニュースなどからは、マスクを買おうとして薬局に行き、在庫がないと言われ激高して店員に感染したらどうしてくれるんだと怒鳴ったり、一時はト

イレットペーパーが店頭からなくなってしまったりしました。さらには、学校が休業となり、お子さんが毎日家にいることでどのように過ごせばよいか、子どもの成長への影響など感染の不安と向き合いながら、今日に至ってきました。今では、学校も再開されました。子どもたちの元気な声が少しずつではありますが、聞こえてくるようになりました。東北震災で被災地を訪問した時、学校が再開され、子どもたちの元気な声に復興への元気が出てきたと話されていたのを思い出しました。

私たちキャンプを愛する者として、こうした災害に向き合ったときこそ、リスクマネジメントを考え、今、どんな危険が迫っているのか、どんな解決方法があるのか、考えましょう。今この時だからこそ何ができるのか、何をすることを優先とするのか、目の前にいる家族や友人、子どもたちをコロナ禍から守るためにどうしていくことがBetterなのかを冷静になって考えて、行動に移すことです。

ある岐阜県のキャンプ協会員は、マスクの手作りに挑戦したそうです。また、庭にテーブルを出して、食事をしたそうです。いつもは、奥さんが食事を作っていたのですが、時々はお父さんの手料理で食べたり、お子さんと一緒に焼きそばやホットケーキを焼いたりしました。どのように非日常の場を作り上げるかということですね。そして、それらの時間と場を工夫することで乗り越える力を身につけていくのだと思います。まず初めに、私たち自身が少しの思いやりとやさしさをもって向かい合いましょう。

私たちが恐怖や不安な気持ちに負けてしまうと、他人を責めたり、いつも何かに怯えて、イライラしたりしてしまうのです。そのことが、気づかない内に周りにいる友人や家族、子どもたちを追い詰めてしまうことになるのです。

このコロナ禍はいつ終息するのか見えません。今こそ、私たちがキャンプで学んだ自然と向き合う力、生きる力を発揮しようではありませんか。いつかまた、会員の皆さんが、このコロナウィルス禍をどう乗り越えたのかを交流し合える日を楽しみにしています。

ステイホームの中、庭に出てビア缶チキンを作ってみました。缶ビールのふたを開け、塩コショウで味付けした鶏肉の中抜きを缶の上からかぶせ、コンロの上に置きます。そして、上からパケツをかぶせて蒸し焼きにするのです。ビールの蒸気が鶏肉を柔らかく美味しくするのです。かみさんたちは、ひたすら手作りマスクに奮闘中でした。  
庭での非日常の食事はとてもHappyでした。



**厳冬期の野天風呂『本澤温泉 雲上の湯』**

【厳冬期の野天風呂『本澤温泉 雲上の湯』（岐阜県キャンプ協会HPより）  
 2020/2/8 ソロ山行日帰り】 寄稿者：坪田守泰  
 秘湯と云えば『高高原温泉』であるが、『本澤温泉 雲上の湯』も秘湯であろう！  
 何せ、日本で最高所にある露天風呂（標高 2,150m）なのである。  
 今回は、稲子湯から5分ほど上がった駐車場から入山して、『本澤温泉 雲上の湯』のみ浸かって下山するという今回もソロの山行です。

前日の20時に自宅を出発し、稲子湯のから5分ほど上がった唐沢橋のある駐車場に向かった。

23時ころ到着し車中泊をすることとした。車内は氷点下となったが、もこもこダウンのお陰で快適に眠れた。

でも、テントのほうが暖かかったらと思う。テントは意外と暖かいのです。



翌朝は準備に手間取り6時45分に出発。

前日から停まっていた数台の車。昨日から入山しているのかな。



今回は雪山ハイキングなので、4本爪の軽アイゼンと定番のテムレスで準備よし！



道中はこんな感じ。積雪は50cmくらい？



こまどり沢。ここまで約1時間



唐沢橋のゲート。このボックスに登山届を提出。今年は暖冬の所為か雪は少ない。

本澤温泉へのコースタイム(無雪期)は3時間10分。

さてどれくらい掛かるかな・・・



しらびそ小屋。

だ～れもない。

ここまで1時間25分。

ここで少し休憩しましょう。



みどり池。完全に雪に埋まっています。



本澤温泉に到着。2時間ちょっとで到着。休憩除けば、正味2時間ぐらい。



人の気配がしない。只今、9時半ぐらい。



本澤温泉にある内風呂『石橋花の湯』外にありました。



本澤温泉。現在の気温は氷点下9℃です。温泉に入るには勇気がいりますねえ！！らしい。小屋から5分ほど上がった沢のほとりに目指す野天風呂があります。さあへ、行こ！

雪に埋もれた『本澤温泉 雲上の湯』。ひっそりとありました。

天気良ければ硫黄岳が望めるはずなんだけど・・・残念！

お湯の温度は38℃。ちょっとぬるめ。



蓋を全部開けて、後ろ向きで失礼します。いい湯ですなえ～。肩まで浸かっていないとすごく寒いです(S・o)！

厳冬期の露天風呂は、出る時よりも入る時の方が寒いと云うのが体感出来ました！しかし、だ～れも来ない・・・



『本澤温泉小屋』の談話室

だ～れも来ないので、1時間近く入ってました。

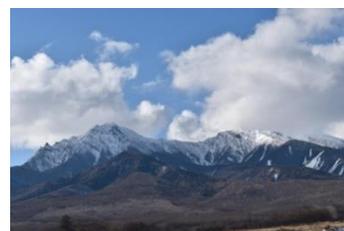
で、本澤温泉でカレーライスをいただきました。



本日の目的は露天風呂入浴でした。目的を達したので下山します。

帰りは駐車場まで1時間半ほど。14時に駐車場に到着しました。

これなら天狗岳を経由しても十分余裕があるので、来年は『天狗岳』と『雲上の湯』の日帰り山行を組んでみたいと思います。帰宅途中の稲子湯旅館。雪が舞ってきました。



帰宅途中にて。左から『赤岳』稜線下って『横岳』そして雲の中に『硫黄岳』と云うことで帰路についた次第です。

2020年02月10日